

か が おんせん えき しゅうへん

加賀温泉駅周辺地区

(石川県加賀市)

- 計 画 期 間 令和元年度～令和6年度
- 面 積 26ha
- 交付対象事業費 3,155百万円
- 市人口 63,830人

ポイント

北陸新幹線加賀温泉駅開業に向け、加賀温泉駅周辺の賑わい創出

地区概要

加賀温泉駅周辺地区は北陸新幹線駅が整備される重要な交通結節点であり、加賀市の玄関口として相応しい環境空間を整備し、公共交通の拠点化を図る。

目 標

加賀温泉駅前広場の交通結節機能を強化するとともに加賀市の玄関口として相応しい環境空間を整備し、人々が集う賑わい拠点づくりを推進する

指 標

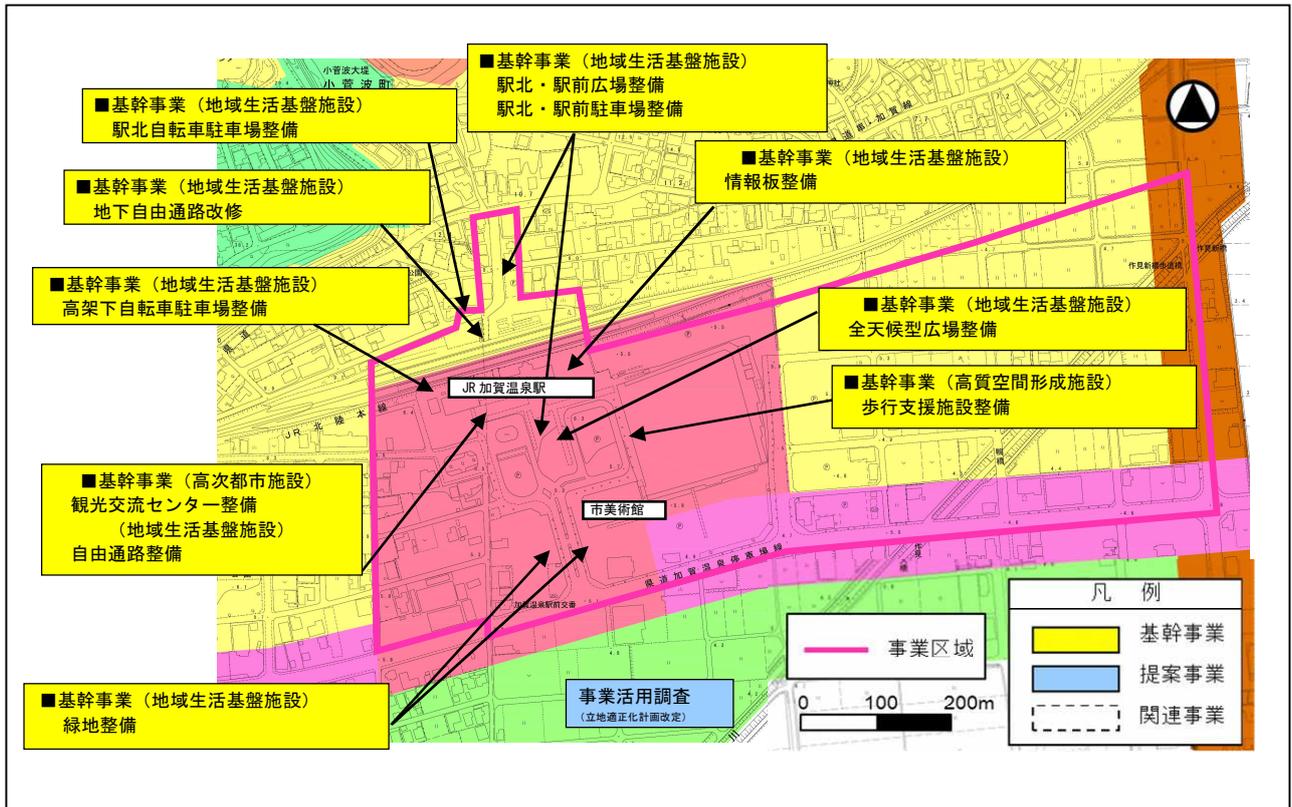
駅前広場の交通結節機能の強化及び、魅力づくり、賑わい空間づくりにより公共交通利用者数及び公共施設利用者数の増加を目指す。

周遊観光バス利用人数	98,731人/年 (H29)	→	109,000人/年 (R6)
市美術館入館者数	30,177人/年 (H29)	→	34,000人/年 (R6)
駅前広場イベント参加人数	440人/年 (H27)	→	880人/年 (R7)

事業内容

基幹事業 (3,138百万円) → 地域生活基盤施設 (駅北・駅前広場整備) (全天候型広場整備)
 (駅北・駅前駐車場整備) (駅北・高架下自転車駐車場整備)
 (情報板整備) (地下自由通路改修) (自由通路整備)
 高質空間形成施設 (歩行支援施設整備)
 高次都市施設 (観光交流センター整備)

提案事業 (17百万円) → 事業活用調査 立地適正化計画改定



地区の現況と課題

加賀温泉駅は、H7～H12に駅前広場が整備され、周辺には大規模小売店舗の立地など県道沿いへの店舗立地が進捗している。H28には、大聖寺地区にあった加賀市民病院が駅南部に「加賀市医療センター」として移転する等、加賀温泉駅周辺に都市機能の集約化がすすめられている。

加賀温泉駅におけるJR乗降客数については、H17～H27までは微減傾向にあったが、H27.3北陸新幹線金沢開業により約237千人（117.0%）の増加に転じている。また台湾・シンガポール等との積極的な海外交流によるインバウンド観光の推進により、H28年度の外国人観光客数は約61千人となり、毎年着実に増加している。

R6春には北陸新幹線金沢・敦賀間の開業が控えており、今後ますます加賀温泉駅を利用する人数が増えることが予想されるが、現状では、観光バスや自家用車の駐車場が不足しており、朝夕の通勤・通学時には交通渋滞が生じている。また、駅前広場中心の環境空間は十分に活用されていない状況であり、駅前広場の交通結節機能の強化と賑わい空間の創出、在来線新駅舎周辺の広場整備が求められている。



北陸新幹線加賀温泉駅舎
イメージパース



駅前広場 交通渋滞状況

提案事業の特徴

事業活用調査

加賀温泉駅周辺地区において、事業実施後の目標の達成など、その効果を検証した上で、事後評価を行い、事業後のまちづくり方を検討する。



全天候型広場整備イメージ図

計画策定プロセス

北陸新幹線加賀温泉駅開業に向けた取り組み

加賀温泉駅周辺地区は、加賀温泉駅前広場の交通結節機能の強化と加賀の玄関口としてふさわしい空間及び賑わいの創出を目指している。H28年度より加賀温泉駅施設整備検討委員会を設置し、これまでに委員会を12回開催し、加賀温泉駅の交通施設整備や観光交流施設などについて検討を行っている。



加賀温泉駅施設整備検討委員会